

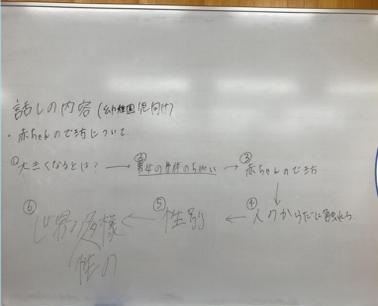
横浜女学院高等学校

YJG

高校生ボランティア・アワード2022

「幼少期からの性教育」

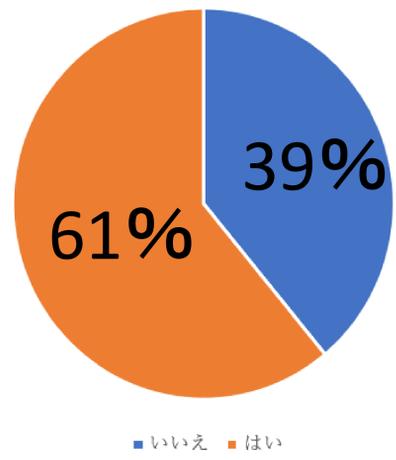
日本の性教育の問題点を他国との交流を通して解決に導けるようにする活動をしている。



「偏見がない性教育を」

性の大切さを知ってもらうために偏見を無くすことを目的として幼児向けにPR活動をしていく。

幼児の頃から性教育を学ばせる必要があると思うか



100人に聞いた!

SNS・学校の生徒のアンケート総合結果

「十分な性知識を伝えていく」

性教育について他国との交流を通して日本は性教育の知識が浅い、性への偏見や恥ずかしさを持っている、性から起こる差別、予期していない行為の際に対処できない、思春期早発症になった際に対処できない、性教育の時期が遅い、予期していない妊娠の際に適応できない、というような問題点が挙げられた。その問題を解決に導く為、幼児に焦点を当てて学校の生徒やSNSを活用してアンケートを取った。それを基に性の大切さを教える活動をしている。



「性の大切さを知ってもらう」

他国と比べて性に偏見や恥ずかしさを持っていたり日本の性教育の基準があるからこそ十分な知識を得ることができない事が問題であると考えた私たちはPR活動を通して幼児だけでなく子供から大人まで性の大切さを知ってもらいたい。

「 YJG ~社会課題を解決に導く為に~」

社会の役に立ちたいという意思のもとに結成されたグループでまだ経験が浅い、あまり活動ができていない。普段はESD(持続可能な発展するための教育)として、求めるのが、「持続可能な社会を創る準備(コミュニケーション能力)」「リーダーシップ(リーダーを志す力)」「社会的責任(責任)」「総合的な思考力」を学んでいる。今後はこのグループで現代社会の課題を解決に導くために自分たちができる事を考え、取り組んでいきたいと思う。